



第 40 回日本病院薬剤師会近畿学術大会が、

2019 年 1 月 19 日（土）・20 日（日）に

なら 100 年会館・ホテル日航奈良
にて開催されます。

当院からは、

薬剤部 今西江里 薬剤師が

学術発表をされますので、ご紹介いたします。

第40回 日本病院薬剤師会 近畿学術大会

求められているその薬剤師力
～今打ち上げる時、燃やす時、咲かす時～

会期：2019年1月19日(土)・20日(日)

会場：なら100年会館 (JRC奈良駅西側徒歩約5分)
ホテル日航奈良 (JRC奈良駅西口徒歩)

大会会長：谷口 昌彦 (一般社団法人 奈良県病院薬剤師会 会長)

一般演題募集：

2018年7月3日(火)～8月15日(水)

事前参加登録：

2018年9月20日(木)～10月31日(水)

大会事務局：一般社団法人 奈良県病院薬剤師会
〒634-8522 奈良県橿原市西条町8-40
奈良県立医科大学附属病院 薬剤部内

運営事務局：日本コンベンションサービス株式会社 神戸支社
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1 神戸国際交流会館6階

Tel:078-303-1101 Fax:078-303-3760 E-mail:40jshp-kinki@convention.co.jp

<http://www2.convention.co.jp/40jshp-kinki/>

撮影：M&M

高リン血症の透析患者におけるリン吸着薬の服薬に対する意識調査

今西江里¹⁾、中谷沙弓¹⁾、久保佐千子¹⁾、高野日出子¹⁾、山添雅之¹⁾、野口 幸²⁾、山岡みゆき²⁾、渡邊美智子²⁾、吉岡伸夫²⁾、高比康臣³⁾

1)医療法人康仁会西の京病院薬剤部、2)透析センター、3)内科

【目的】西の京病院(以下、当院)では予めから透析患者の重症化予防に積極的に取り組んでいる。透析患者では高リン血症が持続すると予後を悪化させるため、リン吸着薬のアドヒアランスの向上は非常に重要である。そこで今回、透析患者に対する重症化の予防対策を模索する目的で、透析患者に対し透析中のベッドサイドにてリン吸着薬のアドヒアランスに対する聞き取り調査を実施した。

【方法】当院に通院する外来維持透析患者のうち、2018年4月時点において血清リン値が6 mg/dL以上かつリン吸着薬を服用中の患者38名を対象とし、2018年6月に聞き取りによるアンケート調査を行った。なお、本研究は当院倫理委員会の承認を得て実施した。

【結果】聞き取り調査より、38名全員が「リン吸着薬をいつ飲むかわかる」と回答し、決められた量を「全部飲みきっている」と74%(28名)、「少し飲み残しがある」と26%(10名)が回答した。一方で、「リン吸着薬の効果、必要性が少しわからないまたは全くわからない」と61%(23名)、「リン吸着薬の副作用を全く知らない」と55%(21名)が回答し、リン吸着薬の認識不足が見られた。さらに自由回答では、「薬は処方されたので飲んでいただけ」との消極的な意見も多く見受けられた。

【考察】今回の調査結果より、対象患者の74%はリン吸着薬に対するコンプライアンスが良好である一方で、リン吸着薬の効果、必要性や副作用についての理解が低く、服薬に対し消極的な認識の患者が61%に見られ、アドヒアランスは不良であることが示唆された。今回の調査結果を踏まえて、今後は患者にリン吸着薬の必要性・重要性を認識してもらうために薬剤師の積極的な介入を行っていきたい。さらに、透析センターの医療スタッフとともに透析患者のアドヒアランスの向上を図ることが高リン血症の透析患者に対する重症化予防対策につながると考える。

- P1-024 病棟薬剤業務で発見した他院の禁忌処方例への対応
○吉田 昌子、泉谷 智之、西岡 元一、坂本三和子、前山 由美、菊山 克彦、池永 順和
宇陀市立病院薬剤科
- P1-025 炭酸ランタンチュアブル錠および顆粒から、OD 錠へ変更された患者における血清リン値変動の検討
○菱田 啓介、伊庭 春菜、大塚 悠伽、田村 友香、湊 悠衣、岡本 祐子、岡田 悠子
洛和会音羽記念病院薬剤部

ポスター発表 3 外来薬剤師業務

- P1-026 入院支援センターにおける薬剤師の業務と有用性について
～入院支援加算算定取得に向けて改めて考えてみた～
○塚本名奈子¹、平山 真秀¹、岸本 歩³、細田 寛子²、友松 育子²、田路 章博¹、
宮地 修平¹、砂金 秀美¹
¹国立病院機構姫路医療センター薬剤部、²国立病院機構姫路医療センター地域連携支援室、
³国立病院機構兵庫あおの病院薬剤科
- P1-027 周術期管理業務における薬剤鑑別作業の平準化について
○八幡 郁子、谷川 恵子、青井 博志、田村 暁識、池田 和之、吉川 一吾、辻 力夫、
杉山 幸正
奈良県立医科大学附属病院

- P1-028 高リン血症の透析患者におけるリン吸着薬の服薬に対する意識調査
○今西 江里¹、中谷 沙月¹、久保佐千子¹、高野日出子¹、山添 雅之¹、野口 幸²、
山岡みゆき²、渡邊美智子²、古岡 伸夫²、高比 康臣³
¹医療法人康仁会西の京病院薬剤部、²同透析センター、³同内科

- P1-029 当院における入院準備センター立ち上げと今後の展望～薬剤師の関わりを中心に～
○玉置 奈々、柏木 秀美、見上富美代
国保日高総合病院薬剤部

ポスター発表 4 TDM・薬物動態

- P1-030 バンコマイシン初回投与設計におけるスマートフォン・タブレット端末用 VCM-TDM
解析アプリケーションの予測性評価
○今井 清隆、一幡 結、西口 杏奈、河野 拓人、土坂 一行
公立豊岡病院組合立豊岡病院薬剤部
- P1-031 カルニチン欠乏症の臨床指標としての血糖値・NH₃ 値の調査報告(重症心身障害児(者)
の場合)
○堀田 優衣、森 恵子、赤井 裕子、岸本 歩
兵庫あおの病院薬剤科
- P1-032 血液透析患者を対象としたバンコマイシン投与後の血中濃度測定意義について
○交久瀬綾香、中蔵伊知郎、今西嘉生里、宮部 貴識、佐光 留美、山崎 邦夫
国立病院機構大阪医療センター

ポスター発表 5 医薬品情報

- P1-033 シナカルセト塩酸塩からエボカルセト切り替え後の有効性及び安全性の検討
○寺田 真弓、塩見のぞみ、四方 友也、下野なつみ、大島 辰也、真下 智行、外賀 沙織、
太田 翔一、林田 和久、杉田 直哉
綾部市立病院薬剤部
- P1-034 アスピリンとクロピドグレルによる DAPT 期間と PPI 併用状況の調査
○山根 麻緒、内川 晶裕、田中 一穂
製鉄記念広島病院薬剤部

大会日程表

1日目 1月19日(土)

会場名	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
1F 第1会場													
2F 第2会場													
B1F 第3会場													
2F 企業展示													
3F 第4会場													
4F 第5会場													
5F 第6会場													
4F ホスター会場1													
4F ホスター会場2													
4F ホスター会場3													
4F 企業展示													

2日目 1月20日(日)

会場名	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
1F 第1会場													
2F 第2会場													
B1F 第3会場													
2F 第4会場													
3F 第5会場													
4F 第6会場													
4F ホスター会場1													
4F ホスター会場2													
4F ホスター会場3													
4F 企業展示													

1F 第1会場

2F 第2会場

B1F 第3会場

2F 企業展示

3F 第4会場

4F 第5会場

5F 第6会場

4F ホスター会場1

4F ホスター会場2

4F ホスター会場3

4F 企業展示

1F 第1会場

2F 第2会場

B1F 第3会場

2F 第4会場

3F 第5会場

4F 第6会場

4F ホスター会場1

4F ホスター会場2

4F ホスター会場3

4F 企業展示

1F 第1会場

2F 第2会場

B1F 第3会場

2F 第4会場

3F 第5会場

4F 第6会場

4F ホスター会場1

4F ホスター会場2

4F ホスター会場3

4F 企業展示

1F 第1会場

2F 第2会場

B1F 第3会場

2F 第4会場

3F 第5会場

4F 第6会場

4F ホスター会場1

4F ホスター会場2

4F ホスター会場3

4F 企業展示